

R5年度 事業名	ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業
R4年度 事業名	ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	1992	終了年度	9999
	目的	ひとり暮らし高齢者等の安否の確認と孤独感の解消を図る。				
	概要	家族との行き来・交流がないなど、継続して安否の確認と他との交流を必要とする70歳以上のひとり暮らし高齢者、または高齢者世帯員に対して、民生委員児童委員が安否確認のため訪問・声掛けし、副次的に乳酸菌飲料を配布する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	社会福祉協議会に委託	
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	民生委員等への周知回数	回数	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	2		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	対象者に対する訪問事業の実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	計算 根拠	実訪問者数/訪問対象者数	達成率	100	100	100		
			実数値	283/283	263/263	231/231		
	ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,437	1,480	1,200	1,196	1,196		事業タイプ	単独事業
	決算額	970	470	947	925			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	1	5	301	ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業費	1,196	1,196	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,196

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.06
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計 点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	この事業は、「家族との行き来・交流がない」など、継続的な安否確認の必要性が認められる場合に限るものであり、引き続き民生委員児童委員にこの事業の趣旨を理解いただきながら、ひとり暮らし高齢者世帯等の安否確認のため、当事業を有効に活用してもらおう。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	当該事業の趣旨を理解いただいたうえで、ひとり暮らし高齢者世帯等の安否確認のため当事業を有効に活用してもらえよう、全地区の定例会開催時に訪問し、説明した。また、民生委員児童委員から当該事業利用のための内申があった場合に、実態調査を行ったうえで利用の可否を決定するよう事業の仕組みを変えた。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	軽作業援助事業
R4年度 事業名	軽作業援助事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	生活環境の整備等を行うことで自立した生活の継続を可能にし、要介護状態への進行を防止する。				
	概要	家族の支援が受けられない、おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者または高齢者世帯員であって、住民税非課税世帯者を対象に、鯖江市シルバー人材センターの登録会員が軽易な日常生活の作業を行う。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	シルバー人材センターに委託		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報紙等によるPR	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	3		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	申請者に対する軽作業援助事業実施率	%	目標値	100	100	80	100	100
			実績値	86.6	78.3	100		
	計算 根拠	軽作業援助事業実施者数/申請者数×100	達成率	86.6	78.3	100		
			実数値	58/67	54/69	57/57		
	ランク		B	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,222	1,222	1,282	1,190	994		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,084	947	849	991			経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	1	5	207	軽度生活援助事業費	1,338	994
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	994

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	100

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点~8点 9点~16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	関係機関と連携を図りながら、在宅で安心した生活を送ることができるように事業を周知し、情報提供していく。
来年度へ向けて	R4年度の実績 前年度の事業利用者および介護保険要介護認定結果送付者へ案内を送付するとともに、全地区の民生委員児童委員定例会において高齢者福祉・介護保険ガイドブックを配布し、高齢福祉事業について説明することで、継続利用者および新規利用者への情報提供を行った。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 特になし
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 当該事業の活用を必要とする人が利用できるよう、居宅介護支援事業所に高齢者福祉・介護保険ガイドブックを配布し、更なる事業周知を行う。
	R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	市内入浴施設等利用助成事業
R4年度 事業名	市内入浴施設等利用助成事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	入浴等を通して高齢者の健康の保持と福祉の増進を図る。				
	概要	65歳以上の高齢者に対し、「ラポーゼかわだ、市民ホールつつじ、神明苑」のいずれかの施設1回分無料利用券を送付し利用助成する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	市直営		年齢要件(65歳以上)や転出・死亡等の異動を確認して発送している。R3からは、湯めぐりキャンペーンの事務(アンケートの集計と助成券の発行)を行っている。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報紙等による周知回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	利用券発行数(2022年度まで)		枚数	目標値	19,000	19,100	19,200		
				実績値	19,211	19,324	19,397		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	対象者に対する利用者の割合		%	目標値	43	43	40		
				実績値	24	26	28		
	計算 根拠	利用実績/65歳以上の高齢者×100		達成率	55.8	60.5	70.0		
	利用率		%	実数値	4654/19211	5111/19324	5434/19397		
				目標値				40	40
	計算 根拠	利用実績/65歳以上の在宅高齢者(要介護3以上除く)×100		達成率					
				実数値					
			ランク	C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	利用者の割合を算出する際の、65歳以上高齢者数には、在宅以外の人や介護度の重い人も含まれていることも未達成の原因の一つと考えられる。(65歳以上の在宅高齢者(要介護3以上除く)で算出すると、達成率76.3%)								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	4,145	4,298	4,196	4,139	4,139		事業タイプ	単独事業
	決算額	3,580	2,610	2,870	3,053			経費区分	扶助費

DO(実施)

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	1	1	市内入浴施設等利用助成事業費		4,139
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,139

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	保険者機能強化推進交付金	4,139
2			
3			
4			
5以降			
		合計	4,139

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	広報誌により利用促進を呼びかける。令和3年度から引き続き令和5年度も、年間を通して利用してもらうために、利用閑散期である7月~10月に利用すると抽選で特典が受けられるお楽しみイベントを実施するとともに、各施設にポスター掲示を依頼することで利用を促進する。また、75歳以上高齢者に対する「つつじバス、0(ゼロ)のつく日(10日・20日・30日)の無料乗車制度」の利用働きかけを通じ、施設利用券のより一層の活用の推進に努める。
来年度の実績	R4年度 広報誌にて事業のPRを行った。つつじバスの利用に関して、利用券内に制度案内を印刷することで利用促進を図った。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	令和2年度・3年度ともに年度当初からコロナウイルスの影響を受けたため、助成券利用者が大幅に減少した。令和4年度は少し増加したものの、コロナ禍前まで戻るには程遠い状況であり、目標設定の見直しも必要である。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	健康保持と福祉の増進を目的として、同時に入浴施設への外出や施設での人との交流を深めること、また、一部の施設ではあるが、トレーニングルームを共通利用可能としており、運動することも介護予防に通じるとの観点から、神明苑と鯖江市スポーツ交流館のトレーニングジムを助成対象施設として拡大する。
R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	高齢者マッサージ施術費助成事業			
R4年度 事業名	高齢者マッサージ施術費助成事業			
総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	1989	終了年度	9999
	目的	高齢者の健康の保持増進を図る。				
	概要	65歳以上の高齢者に対し、はり、きゅう、マッサージを市内の施術所において医療保険適用外の施術を受けたとき、その費用の一部を助成する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	市直営		年齢要件(65歳以上)を確認して年1回3回分(3,000円)を発行している。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報等による周知回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	申請者に対する交付対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	計算 根拠	交付者数/申請者数×100	達成率	100	100	100		
			実数値	410/410	417/417	359/359		
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	2,100	1,600	1,600	1,600	1,600		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,057	991	919	816			経費区分	扶助費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	4	1	1	2	高齢者マッサージ施術費助成事業費	1,600	1,600	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,600

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	保険者機能強化推進交付金	1,600
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,600

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 広報・周知を図ることで、利用者数を拡大させる。

来年度の実績 R4年度 広報さばえ等での広報を実施した。公民館と連携し、家の近くで助成券の発行が受けられるようにしている。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 特になし

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 特になし

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	慶祝訪問・米寿祝品贈呈事業
R4年度 事業名	慶祝訪問・米寿祝品贈呈事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	長寿を慶祝する。				
	概要	毎年9月の老人週間に、88歳(米寿)と100歳の方にお祝い品を贈り、長寿を祝う。88歳の方には郵送により贈呈し、100歳以上の方には市長等が訪問してお祝い品をお渡しする。 (H25から100歳以上をやめ、100歳と最高齢者に縮小した) (最高齢者への訪問は平成30年度で終了し内容縮小した)				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容 年度ごとの対象者の確認と県への報告。百歳対象者への訪問内容確認。お祝い品の発送。当日の訪問。米寿の方には郵送の段取り。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	慶祝品訪問配布率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠		配布数/対象者×100	達成率	100	100	100		
				実数値	357/357	385/385	399/399		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,768	1,763	1,796	1,796	1,925		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,768	1,754	1,729	1,780			経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	1	5	204	高齢者報償費	1,925	1,925
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,925

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	祝品については、地場産業の振興支援および記念品の価値観の高い製品という観点から、H19年度から漆器製品にしている。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	百歳高齢者については33名、米寿高齢者については366名に贈呈した。 (百歳については、より記念の意が強い品物を、米寿については普段使いできるもので、いずれも地元産業の品物としている)
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	要介護高齢者住宅改造助成事業
R4年度 事業名	要介護高齢者住宅改造助成事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	在宅で生活する介護を要する高齢者の在宅生活の維持向上を図る。				
	概要	【対象者】鯖江市に住所を有する在宅者で、要介護3から5の認定を受けた人、または要介護1もしくは2の認定を受けた人で別途要件を満たす人 【対象工事】(1)家屋内の高齢者対応改修工事 (2)住宅周辺環境の高齢者対応改修工事 【助成額】住宅等の改造に要した経費に10分の9を乗じて得た額(限度額80万円)ただし、一定以上の所得を有する65歳以上の人は、10分の8または10分の7(H30.8月から)を乗じて得た額(限度額80万円)。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	補助対象となる工事内容の審査をして助成している。	
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報紙等による事業PR		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	申請者に対する対応者実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	対応者/申請者×100		達成率	100	100	100		
				実数値	3/3	3/3	2/2		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,000	5,000	5,000	4,000	3,200		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	2,061	1,378	1,925	1,600			経費区分	扶助費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	1	5	311	要介護高齢者住宅改造成業費	3,200	3,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,200

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	住まい環境整備新事業費補助金(1/2)	1,600
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,600

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	100

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計 点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	在宅での生活や介護しやすい住居になるよう事業の一層の周知を図り利用を促進する。
来年度の実績	要介護認定通知に事業案内を同封しPRを開始した。住宅改修担当者連携しながら、助成の申請の漏れがないようにした。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	当該事業の活用を必要とする人が利用できるよう、居宅介護支援事業所に高齢者福祉・介護保険ガイドブックを配布し、更なる事業周知を行う。
R6方向性⇒	<input type="text" value="事務改善(手段・サービス水準の見直し)"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	いきがい講座事業
R4年度 事業名	いきがい講座事業

総合戦略 体系	331	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援
------------	-----	-------------	--------------	--------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	60歳以上の高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、長寿を喜びあえる社会を醸成する。				
	概要	月2-3回 講座を開催 利用者負担 月額600円+材料費(令和2年度より500円から600円に変更) 開催場所、講座内容(年度当初内容)※18コースで実施 (ユールカルさばえ)木彫、水墨画、ピラティス、レッツ歌謡フラダンス、ヨガ (まなべの館)絵画 (ふれあいみんなの館・さばえ) 簾工芸、楽しいデジカメ写真 (夢テラス) スマホアプリマスター、レクリエーション講座 (鯖江公民館) 太極拳 (中河公民館) 旅行英会話 (さばえNPOセンター) 楽しいパソコン				
	法令等 根拠		実施 形態	内容 ユールカルさばえ、まなべの館、ふれあいみんなの館・さばえ、夢テラス、鯖江公民館、中河公民館、さばえNPOセンターで実施。(平成30年度までは提案型市民主役事業として実施。令和元年度は市直営にて実施。令和2年度から提案型市民主役事業として実施)		
現在	その他					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報紙等によるPR	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	講座の年間開催数	回	目標値	495	495	432	450	450
			実績値	202	379	474		
	計算 根拠	全講座の年間開催数(合計)	達成率	40.8	76.6	109.7		
			実数値					
			ランク	C	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,089	3,088	4,123	4,229	4,706		事業タイプ	単独事業
	決算額	3,505	2,161	3,319	4,112			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	1	5	205	高齢者のいきがいと健康づくり推進事業費	5,345	4,706	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,706

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	いきがい講座受講料	2,376
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,376

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	380

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計 点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	例年実施している会場以外での開講や開催方法の工夫等について提案型市民役事業の運営団体と連携しながら事業内容の見直しを行っていく。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	コロナ感染防止対策として全講座定員制を導入し、適正人数で感染対策を行いながら実施した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	講座人数を従来に戻しながら、新たな講座の開催なども検討する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	未実施	未実施

R5年度事業名	いきがい講座	
	市民役事業にかかる額(単位千円):	4,480
R6年度事業名	いきがい講座	
	市民役事業にかかる額(単位千円):	4,480

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	ひとり暮らし高齢者等屋根雪おろし事業
R4年度 事業名	ひとり暮らし高齢者等屋根雪おろし事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	65歳以上のひとり暮らし高齢者および高齢者のみの世帯・ひとり暮らし身障者世帯等について、冬期の積雪から身の安全を守る。				
	概要	65歳以上のひとり暮らし高齢者および高齢者のみの世帯・ひとり暮らし身障者世帯等が、家族や親族の援助がなく屋根雪おろしが困難な場合に、町内の「地域ぐるみの組織」による屋根雪おろしを実施した場合や登録業者等に経費を支払って実施した場合に、住民税非課税世帯を対象として、費用の一部を助成する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営		家族や親族の援助を受けることができず、地域ぐるみの組織や登録業者等により屋根雪おろしを実施した場合に、住民税非課税世帯を対象として費用の一部を助成する。協力業者の登録、学校への学生ボランティア協力依頼。町内への協力依頼。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	屋根雪おろし受け入れ団体数		回	目標値	24	24	24	24	24
				実績値	45	37	37		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	申請者に対する屋根雪除雪助成事業実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	屋根雪除雪実利用世帯/屋根雪除雪申請世帯×100		達成率	100	100	100		
				実数値	29/29	4/4	2/2		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	275	281	202	294	344		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	249	28	14			経費区分	扶助費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	1	5	207	軽度生活援助事業費	1,338	344	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	344

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	増加しているひとり暮らし高齢者等を雪害から守るためには町内ぐるみの支援体制の整備が不可欠であり、町内の理解が得られるよう働きかけていく。また、屋根雪おろし作業者(ボランティア、業者)の確保に努める。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	区長会や民生委員の会議等で町内会での取り組みの依頼や制度説明を行い、制度への協力を求めた。また、ボランティアや業者の確保についても働きかけを行った。制度の利用実績があり、区長や民生委員の協力を得ながら必要な世帯への制度周知を図った。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	引き続き、区長会や民生委員の会議等で地域ぐるみでの支援体制整備の協力や制度説明を行い、当該事業の周知を図る。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	地域ケア会議推進事業
R4年度 事業名	地域ケア会議推進事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	居宅介護支援事業所のケアマネジャーが質の高いケアマネジメントを構築できる。また、個別事例から地域課題の発見、解決に向けた検討および自立支援に向けたサービスの質向上を図ります。				
	概要	市内居宅支援事業所、地域包括支援センターの介護支援専門員が作成するケアプランが、ケアマネジメントのプロセスを踏まえ「自立支援」に資する適切なケアプランになっているかを、介護支援専門員、保健医療および福祉に関する専門職、関係機関や団体により構成されるメンバーで地域ケア会議を開催する。また、個別のケースから地域課題の把握・解決に向けた多職種協働による地域づくりや地域ケアシステムの構築に向けて協議する。				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容 地域包括支援センター等が圏域で抽出した地域課題から地域に必要な資源や取組の政策立案・提言する機能の強化を図り、次期介護保険事業計画に位置づけるなどの対応を図る		
現在	民間等委託（一部）					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ケアプラン点検および研修会	回	目標値	25	35	30	30	30	
			実績値	31	29	36			
	被評価者数	人数	目標値	50	50	50	70	70	
			実績値	31	72	72			
	地域ケア会議事例検討数	事例	目標値		20	20	20	20	
			実績値		25	25			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
指導助言ができた割合	%	目標値	100	100	100	100	100		
		実績値	100	100	100				
		達成率	100	100	100				
計算 根拠	指導助言ができた件数/評価件数×100		実績値	31/31	72/72	72/72			
評価割合	%	目標値		100	100	100	100		
		実績値		96	100				
		達成率		96	100				
計算 根拠	モニタリング事例数/地域ケア会議検討事例数		実績値		24/25	25/25			
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	1,349	498	744	211	186		事業タイプ	交付金事業
	決算額	255	306	408	165			経費区分	物件費

DOO(実施)

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	3	1	3	地域ケア支援事業費		138
2	5	2	1	5	地域リハビリテーション活動支援事業		395	48
3								
4								
5以降								
							合計	186

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	地域支援事業(包括的支援事業等)交付金(国38.5%)	63
2	地域支援事業(包括的支援事業等)交付金(県19.25%)	36	
3	調整交付金(3.66%)	2	
4	支払基金(27%)	13	
5以降	市一般財源	72	
		合計	186

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	
	※所要時間	300

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
15	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	主任介護支援専門員や介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会や地域ケア会議を圏域の地域包括支援センターにおいて実施し、基幹型地域包括支援センターにおいては地域ケア推進会議・ケアプラン点検を居宅介護支援事業所の主任ケアマネと共に自立支援に資したケアプラン作成を目指す。また、短期入所長期利用及び訪問家事援助の過剰利用ケアプランを「多職種による地域ケア会議」や面接等での自立支援に向けた検証を実施する。地域ケア会議で抽出された課題を地域づくりや資源開発する機能の強化を図る。	

来年度へ向けて	R4年度の実績	令和4年度から各圏域の地域包括支援センターが、地域ケア会議を実施した。 自立支援型地域ケア会議 11回、延べ124名参加 検討事例数:25事例 個別地域ケア会議
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	地域ケア会議は、コロナ禍にオンラインによる会議を実施したことで、効率化と感染防止対策が徹底できたことから、今後も、継続してオンラインを活用実施することも必要である。 圏域毎の地域ケア会議を通して、地域関係者とのネットワークづくりの強化を図り、地域課題を整理したことを、市が実施する地域ケア推進会議に提案し、施策化する体制づくりが必要である。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	地域ケア会議等より把握された地域課題を年間通して蓄積し、地域課題の解決機能の1つである地域ケア推進会議を年2回開催する。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	食の自立支援事業(配食サービス)
R4年度 事業名	食の自立支援事業(配食サービス)

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	在宅の概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者または高齢者世帯であって、調理が困難だと認める人に対し、配食サービスを提供することで、バランスよい食事の摂取や栄養の確保を図る。				
	概要	住民や在宅介護支援センターからの情報を基に実態把握調査を実施し、調理が困難等と判断した人に対し、週1回配食サービスを提供する。 毎週金曜日の昼食、〈自己負担〉250円/1食				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		社会福祉協議会に委託			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	支給したひとり暮らし高齢者等数	人	目標値	120	120	120	90	90
			実績値	96	80	91		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	対象者に対する配食サービスの実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	計算 根拠	配食サービス支給者数/配食サービス対象者数×100	達成率	100	100	100		
			実数値	96/96	80/80	91/91		
			ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,299	3,547	4,041	4,044	3,276		事業タイプ	単独事業
	決算額	3,560	86	2,648	3,341			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	1	5	303	食の自立支援事業費	3,276	3,276	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,276

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	食の自立支援事業納付金	1,125
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,125

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	50

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	事業の広報・周知を図るとともに、広報等を通して、配食ボランティアの募集を行う。
来年度の実績	R4年度 全地区の民生委員児童委員定例会において高齢者福祉・介護保険ガイドブックを配布し、高齢福祉事業について周知した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	通所型サービス短期集中予防サービス(C型)
R4年度 事業名	通所型サービス短期集中予防サービス(C型、集団)

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課			開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	要支援または要介護状態になる可能性が高いと認められる高齢者等に対し、必要な支援を行うことにより、可能な限り介護状態になることを防止し、住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう支援することを目的とする。						
	概要	介護サービス事業所等に委託し、通年で実施する。 住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できるよう、運動機能向上を目的としたプログラムを3ヵ月間の短期集中で取り組む。より専門的な視点から自立支援を促進するケアマネジメントを実現するとともに、高齢者自身の運動機能向上の意欲向上を目指す。						
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容	対象者の把握および介護予防マネジメントは、地域包括支援センターが実施し、通所型サービスに関する事業運営は介護サービス事業所等が実施する。			
現在	民間等委託(一部)							

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	開催回数(1クール12回実施)※2021年度まで	クール	目標値		6	6			
			実績値		3	5			
	参加者数	人	目標値		65	65	80	80	30
			実績値		25	30	7		
	会場数	箇所	目標値			4	3	4	5
			実績値			4	2		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	健康チェックリストにより生活機能が維持もしくは改善している人の割合※2021年度まで		目標値		75	75			
			実績値		81.0	92.6			
	計算 根拠	「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」による(維持改善者数/参加者数(修了者数)×100)	達成率		108.0	123.5			
			実数値		17/21	25/27			
	運動器機能の目標を達成した者の割合	%	目標値			70	70	80	80
実績値					66.7	85.7			
計算 根拠	運動器機能の目標を達成した者の数/参加者数(修了者数)	達成率			95.3	122.4			
		実数値			18/27	6/7			
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	9,885	9,876	7,994	4,704	3,686		事業タイプ	交付金事業
	決算額	6,115	3,371	854	349			経費区分	物件費

DOO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	1	1	1	介護予防・生活支援サービス事業費	119,384	3,686	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,686

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金(国:	737
2	総合事業調整交付金(国3.66%)	135
3	支基金交付金(国27.0%)	995
4	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金(県:	458
5以降		
合計		2,325

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
15	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	介護サービス事業所に委託。通年で実施。住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できるよう、運動機能向上を目的としたプログラムを3ヵ月間の短期集中で取り組む。より専門的な視点から自立支援を促進するケアマネジメントを実現するとともに、高齢者自身の運動機能向上の意欲向上を目指す。

R4年度の実績 R3までは、開催会場(地区公民館)の都合で、感染症流行期の事業実施ができない期間があった。自立支援の考えから、必要な人に必要なタイミングでサービスが提供できるような仕組みづくりや継続して事業実施ができる体制づくりとして、介護サービス事業所等で送迎も含めた事業として委託。運動器機能向上プログラムに特化した内容で実施した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 介護予防・日常生活支援総合事業でのサービスの1つであり、事業運営は必須である。自立支援の考えからも、必要な人に必要なタイミングでサービスが提供できることや継続して事業実施ができる体制づくりとして、介護サービス事業所等での送迎も含めた事業を継続して実施し、その会場を増やしていくことが課題である。そのためにも、事業所指定として実施する。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 介護予防・日常生活支援総合事業での通所型サービスとして事業所数の拡充を図る。

R6方向性⇒ **事務改善(他事業との連携・統合)**
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	--------------------	---

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	--------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	権利擁護事業
R4年度 事業名	権利擁護事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	地域の高齢者に対し、介護保険サービスにとどまらない様々な形での支援を行う。				
	概要	権利擁護の観点から、対応の必要な高齢者への支援を行う。具体的には、高齢者虐待への対応や防止に向けた研修会、ネットワーク委員会を実施する。低所得者に係る成年後見制度申立および成年後見人に要する経費の助成などを行う。				
	法令等 根拠 現在	介護保険法 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律 市直営	実施 形態	内容 権利擁護にかかわる相談等への対応、成年後見制度を円滑に利用できるように情報提供、虐待早期発見のための地域関係者のネットワーク等		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	権利擁護に関する相談件数(延)		件	目標値	100	100	180	550	550
				実績値	186	142	586		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	権利擁護に関する相談件数に対する支援割合		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	支援件数/権利擁護に関する相談件数×100		達成率	100	100	100		
				実数値	186/186	142/142	586/586		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	1,285	1,610	1,377	4,865	311		事業タイ	交付金事業
	決算額	261	411	22	48			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	3	1	4	権利擁護事業費	311	311	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	311

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(包括的支事業)交付金(国38.5%)	120
2	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(県19.25%)	60
3		
4		
5以降		
合計		180

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	124

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	14
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	高齢者虐待への対応や防止に向けた研修やネットワーク会議を実施する。後見制度については前年度同様に低所得者等に係る成年後見制度申立に要する経費の助成などを行う。各4圏域の地域包括支援センターにおいても権利擁護事業に関する相談支援・普及啓発を行う。
来年度へ向けて R4年度の実績	権利擁護対応件数は64件であり、養護者や施設従事者による虐待件数も近年増加している。成年後見制度利用の市町申立は、2件で前年(2件)と同数であった。高齢者虐待防止ネットワーク会議を1回開催した。ふくい嶺北成年後見センターは、7市町共同で委託し、専門的な相談(二次相談)を行政から行うことができた。また、成年後見制度の普及啓発として講演会および専門家による相談会を行った。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	継続して高齢者虐待防止ネットワーク会議を開催する。今後、高齢者に関わる専門職に向けて高齢者虐待への対応や防止に向けた研修会を定期的に開催し、専門職の理解を向上させる必要がある。独居高齢者や高齢者2人暮らし世帯の増加により、老々介護、介護者の負担や高齢者の身体面、経済面、環境面での複合的な問題が多くなり、高齢者の困難事例や虐待、権利擁護等に関する業務が増加することが予測される。成年後見制度の理解が低く、継続して市民への周知啓発をする必要がある。令和5年度は、市民後見養成講座を開催し、次年度も継続的育成が必要である。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	地域包括支援センター事業
R4年度 事業名	地域包括支援センター事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課		開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	地域住民が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続することができるように、介護保険制度によるサービス、その他の社会資源を本人が活用できるように、包括的および継続的に支援することを目指し、各地域包括支援センターが地域包括ケアを支える中核期間としての役割を目指す。					
	概要	公正・中立な立場から、地域における①総合相談・支援、②介護予防マネジメント、③包括的・継続的マネジメント、④権利擁護事業、地域ネットワーク会議の開催を担う中核機関として、地域包括支援センターを運営する。 基幹型地域包括支援センターは、各4圏域の地域包括支援センター間の連絡調整や後方支援を行う。					
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容	相談業務		
現在	民間等委託(一部)						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	相談日の開設日数	日	目標値	240	240	240			
			実績値	237	242	243			
	総合相談延べ件数	件	目標値	2,200	5,000	6,000			
			実績値	6,401	5,880	7,020			
	地域包括支援センター職員研修会・勉強会等の開催数	回	目標値			20	20	20	
			実績値			20			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
相談のうち解決の手段・方法を示すことができた割合	%	目標値	100	100	100	100	100		
		実績値	100	100	100				
計算 根拠	解決の手段・方法を示すことができた数/相談数×100	達成率	100	100	100				
		実数値	6401/6401	5880/5880	7,020/7,020				
地域包括支援センター運営協議会開催数	回	目標値			2	3	3		
		実績値			1				
計算 根拠	地域包括支援センター運営協議会開催数	達成率			50				
		実数値							
			ランク	A	A	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	令和4年4月から地域包括支援センターは、4か所設置し法人等に委託したが、実績報告等に至るまでに時間がかかったため、12月末までの実績で年1回開催したため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	46,681	47,759	46,632	11,482	7,360		事業タイプ	交付金事業
	決算額	44,971	44,290	45,100	11,061			経費区分	物件費

DOO(実施)

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	3	1	2	地域包括支援センター事業諸経費		7,360
2								
3								
4								
5以降								
							合計	7,360

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(国38.5%)	2,834
2	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(県19.25%)	1,417	
3	市負担金(市19.25%)	1,417	
4		1,692	
5以降			
		合計	7,360

事業要員	正規職員	4
	会計年度職員	4
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
13	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組内容	各地域包括支援センターが、年間運営方針や業務計画を立案し国の評価基準、最終評価を実施し、地域の状況に応じた地域活動を自主的、意欲的に展開できるようにする。困難事例等の継続支援について各地域包括支援センターとともに協働で支援する。また、月1回の定例会を開催し、業務内容の共有化、情報交換を実施するとともに、計画的な職員研修を実施し、職員の資質向上を図る。	

R4年度の実績	市は、基幹型地域包括支援センターを設置し、4か所の地域包括支援センターが行う総合相談支援業務、権利擁護業務・包括的・継続的ケアマネジメント業務について後方支援やセンター間の調整を行った。毎月の地域包括支援センターの定例会や専門職種の研修会も行った。相談件数は、主に、各地域包括支援センターでの困難事例や権利擁護に関する事例の相談対応が多かった。また、包括的・継続的ケアマネジメント業務は、ケアプラン点検等介護支援専門員の資質向上を図るための研修を実施した。
---------	--

向4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
 地域包括ケアシステムの構築を目指すために、圏域ごとの職員体制を整備することで包括業務が充実し、更に、担当圏域の高齢者の実態把握により地域の課題や対策について明確になり、更なる継続的な地域包括ケアシステムの構築を推進することにつながると思われる。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
 継続可能な地域包括ケアシステム構築を図るため、各圏域の地域包括支援センターとしての役割・機能を担うことが出来るよう市に設置した基幹型地域包括支援センターは、各地域包括支援センター間の格差を最小限となるよう継続して連絡調整および後方支援する。
 R6年度からは、新たに地域包括支援センター運営業務委託契約を開始する年度のため、2年間の業務評価と課題を検討した結果、6年間の委託期間とする。認知症高齢者の増加に対し、いつまでも地域で安心して生活できるよう介護予防事業や地域づくりの体制を整備する必要があり重点事業として実態把握事業、地域ケア会議、介護予防普及啓発事業、認知症地域支援推進員活動等も委託する。

R6方向性⇒	事務改善(民間委託の導入・拡大)
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	令和4年4月から地域包括支援センターを設置し活動してきたが、前半の活動が思うようにできず、実績報告の提出が困難であったため、12月末までの実績報告をする内容で、運営協議会を1回開催した。

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度 事業名	ひとり暮らし高齢者の集い開催事業			
R4年度 事業名	ひとり暮らし高齢者の集い開催事業			
総合戦略 体系	331	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	1991	終了年度	9999
	目的	ひとり暮らし高齢者の孤独感の解消と精神的な健康を増進する。				
	概要	ひとり暮らし高齢者を市内4箇所の公民館等に招待し、慰安する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	社会福祉協議会に委託	
	現在	民間等委託(全部)				

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		集い開催回数	回数	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	-	6	4		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		参加したひとり暮らし高齢者数	人数	目標値	400				
				実績値	-				
		計算 根拠	参加したひとり暮らし高齢者数	達成率	-				
				実数値					
		希望した人に対する参加者数		目標値		100	100	100	100
				実績値		100	100		
		計算 根拠	参加者数/希望者数	達成率		100	100		
				実数値		318/318	334/334		
				ランク	-	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,296	100	1,325	1,764	1,764		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,296	100	1,079	1,764			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	1	5	302	ひとり暮らし高齢者のつどい開催事業費	1,764	1,764	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,764

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	新型コロナウイルス感染状況によっては飲食を伴わない形で開催し、地区ごとに実施内容を協議、安全対策をとりながらの開催する。
来年度の実績	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、飲食を伴わない形で安全対策を取りながら開催した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行されたものの、当該事業の対象者は高齢者であることから令和5年度は引き続き飲食を伴わない形にするなど安全対策をとる必要がある。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	令和5年度の新型コロナウイルス感染症の感染状況から飲食可能とするか検討する。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	在宅介護サービス利用支援金支給事業			
R4年度 事業名	在宅介護サービス利用支援金支給事業			
総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	在宅の介護認定者が、介護サービスを利用できるよう支援する。				
	概要	要介護3から要介護5に認定された在宅の高齢者のうち、住民税非課税世帯者を対象に、介護サービスの利用に対し月5,000円の支援金を給付する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	要件審査のため課税・滞納状況、要介護度や在宅状況の確認作業を行って助成している。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ガイドブック等による周知回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	申請者に対する支給率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	支給者／申請者		達成率	100	100	100		
				実数値	26/26	22/22	25/25		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,280	905	925	1,065			経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	1	5	308	介護サービス利用支援金支給事業費	1,320	1,320
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,320

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	40

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ			
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ			
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある			
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点 9点~16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	広報活動を行ったり、ケアマネジャーを通じて支援の必要な対象者を把握することによって、利用者の拡大を図り、介護サービスを利用しやすくする。
来年度へ向けて	R4年度の実績 介護認定結果通知に事業案内を同封し要介護者への直接の案内を行った。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 特になし
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 当該事業の活用を必要とする人が利用できるよう、民生委員児童委員や居宅介護支援事業所に高齢者福祉・介護保険ガイドブックを配布し、更なる事業周知を行う。
	R6方向性⇒ <input type="text" value="事務改善(手段・サービス水準の見直し)"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円): 0"/>
R6年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円): 0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	介護予防人材養成事業
R4年度 事業名	介護予防人材養成事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう本人や家族の応援者である、介護予防の人材養成・育成を行なう。また、サポーターが相互の活動を理解し活動することで、地域における介護予防が自主的に推進することを旨とする。				
	概要	介護予防人材養成として介護予防サポーター養成研修および介護予防サポーター育成研修を開催する。				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	介護予防サポーター養成講座、介護予防サポーター育成研修の運営について社会福祉協議会に委託	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	講習会開催回数		回	目標値	20	20	11	11	11
				実績値	9	10	12		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	参加者数		人	目標値	300	300	150	150	150
				実績値	98	122	168		
	計算 根拠	講座に対する参加者延人数		達成率	32.7	40.7	112		
				実数値					
			ランク	C	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	1,425	1,426	1,003	1,033	1,038		事業タイ	交付金事業
	決算額	1,416	933	1,003	1,033			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	2	1	3	地域介護予防活動支援事業費	14,236	1,038	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,038

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金(国2)	207
2	調整交付金 総合事業(国3.66%)	38
3	支払基金交付金(国27.0%)	280
4	地域支援事業(介護予防・日常生活総合事業)(県12.5%)	129
5以降	市	384
合計		1,038

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	350

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	令和5年度の取組み内容は、さばえいきいきサポーター養成講座では介護予防教室で声かけをしていただくサポーターを養成することを目的とする。さばえオリジナル健康体操「さばえ元気体操」を習得し、体操を通じて、介護予防の輪を広める活動を行っていく。育成講座に関しては、部会ごとにわかれて受講をしていたが、令和4年度からは部会ごとの枠をはずし、各種研修を受けて知識を増やすことで1人の人が様々なサポーターとして地域で活躍できる、サポーター同士の交流ができることを目標とする。
来年度へ向けて	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 さばえいきいきサポーターは、高齢化により活動できるサポーターが減少している。育成講座は、今まで活動内容を区分していたが、今年度から様々な内容でのサポーター活動ができるように登録者全体に参加を進めることができ、今後、活動の幅も広がることが考えられる。介護予防サポーターの今後の活動については、地域支え合い推進事業の協議体メンバーとして地域支え合い活動として活動できるよう調整が重要と考えられる。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 今後活動する介護予防サポーターは、様々な介護予防のサポーターとして活動できるように育成講座を通して知識を深められるように委託先の事業所と継続して協議・調整を行う。 また、市の介護予防事業の活動のみでなく、自分の地域などでも自主的にサポーターとして活動していけるように、地域での活躍の場ができるよう体制を構築していく。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	外出支援サービス事業			
R4年度 事業名	外出支援サービス事業			
総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	在宅の要介護者の介護サービスの利用・通所を支援する。				
	概要	65歳以上で、要介護3から要介護5に認定された在宅の高齢者に対し、医療機関や在宅保健福祉サービス提供施設等に通うための外出・移送手段への一部助成として、年額12,000円分(500円券×24枚)のタクシー乗車券を発行する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	市直営		要件審査のため要介護度の確認作業を行い、発行している。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報等による周知回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	申請者に対する支給率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	支給者数/申請者数		達成率	100	100	100		
				実数値	78/78	71/71	75/75		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	607	504	540	540	540		事業タイプ	単独事業
	決算額	606	405	530	453			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	1	5	304	外出支援サービス事業費	540	540	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	540

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	20

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	広報活動や介護支援専門員を通して支援の必要な対象者の把握により利用者の拡大を図っていく。
来年度の実績	要介護認定開始者を中心に広報活動に努め利用者の拡大を図った。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	特になし
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業
R4年度 事業名	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	1999	終了年度	9999
	目的	高齢者に清潔な安らぎを与え、介護者の労苦の軽減を図る。				
	概要	概ね65歳以上で、ひとり暮らし高齢者もしくは高齢者のみの世帯、または要介護3から5に認定された在宅の高齢者の寝具類(掛布団・敷布団・毛布)の洗濯・乾燥・消毒を行う。 〈回数等〉5・10月の年2回。ただし、利用できるのは1回 〈自己負担〉住民税非課税世帯:自己負担なし 住民税課税世帯: 敷布団 1枚500円、掛布団 1枚500円、毛布 1枚200円				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	申請受付(課税状況・要介護度の確認を含む)、負担金徴収業務を市が行い、寝具の回収・配達および洗濯・乾燥業務を民間委託している。	
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	実施回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	申請者に対する実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	申請者数	達成率	100	100	100			
			実数値	195/195	198/198	191/191			
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	568	700	792	792	835		事業タイプ	単独事業
	決算額	567	653	678	628			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	1	5	305	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業費	835	835	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	835

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業納付金	79
2		
3		
4		
5以降		
合計		79

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	200

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	前年度利用者への個別案内や広報活動を行うとともに、民生委員や介護支援専門員を通して支援の必要な対象者の把握により利用者の拡大を図っていく。
来年度へ向けて	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 特になし
R4年度の実績	要介護認定結果通知に事業案内の同封を令和元年度より開始、民生委員の会議で制度の説明を実施、前年度利用者への案内の送付を行うなどして利用者拡大に努めた。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	引き続き、当該事業の活用を必要とする人が利用できるよう、民生委員や介護支援専門員を通して、事業周知を図る。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	徘徊高齢者家族支援事業
R4年度 事業名	徘徊高齢者家族支援事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2001	終了年度	9999
	目的	認知症高齢者が徘徊した場合の事故などの防止を図る。				
	概要	認知症高齢者に電波発信機を貸与(R4まで)し、徘徊時の居場所を早期に見出し、電話やインターネットで確認できるようにする。 <自己負担> 電波発信機 無料貸与 基本料金 ・住民税非課税世帯 無料、・住民税課税世帯 500円(月額) 位置検索料 ・電話 1回あたり220円、・インターネット 1回あたり110円 R5より徘徊探知機利用の契約をした場合、加入料金および購入に要する費用について、7,700円を上限として助成する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			現行は、申請は市が受け付け、事業は民間に委託している。R5より、徘徊探知機利用の契約をした場合、加入料金および購入に要する費用について、7,700円を上限として助成する。
	現在	民間等委託(一部)				

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報等による周知		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	申請者への貸与率(現利用者は、継続貸与)		%	目標値	100	100	100		
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	貸与数/申請者×100		達成率	100	100	100		
				実数値	5/5	4/4	3/3		
	申請者に対する支給率			目標値				100	100
				実績値					
	計算 根拠	支給者/申請者×100		達成率					
				実数値					
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	53	42	55	55	51		事業タイ	単独事業
	決算額	53	31	23	37			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	1	5	306	徘徊高齢者家族支援事業費	51	51	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	51

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	徘徊高齢者家族支援事業納付金	18
2		
3		
4		
5以降		
合計		18

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 広報活動を行うとともに、介護支援専門員を通して支援の必要な対象者の把握により利用者の拡大を図り、徘徊ネットワーク利用に繋いでいく。

来年度へ向けて R4年度の実績 要介護認定結果通知に事業案内を同封したり、徘徊高齢者SOS等の登録の際などに連携し、緊急的な対応が必要なケースに機器の貸与につなげ、本人の安全と家族の安心の確保に努めた。また、全地区の民生委員児童委員定例会において高齢者福祉・介護保険ガイドブックを配布し、高齢福祉事業について説明するなかで、周知した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 特になし

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 特になし

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円): 0"/>
R6年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円): 0"/>

R5年度 事業名	高齢者福祉バス運行事業
R4年度 事業名	高齢者福祉バス運行事業

総合戦略 体系	331	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援
------------	-----	-------------	--------------	--------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	高齢者のふれあいと学びを支援するため、市のマイクロバスを活用して行動範囲の拡充と生きがいづくり、健康増進の援助を目的とし、高齢者福祉向上を目指す。				
	概要	高齢者の生きがい事業の一環として、老人クラブやふれあいサロン等の団体に対して、市内の入浴施設(市民ホールつつじ、神明苑、ラポーゼ河和田)までの送迎(ふれあいバス)と、市内の施設や文化財等をめぐる(学びバス)高齢者福祉バスを運行する。 (令和3年度より、事業費の一部を参加団体の負担とした。観光ボランティアへの手数料)				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		学びバスの添乗については、民間に委託をしている。(ふれあいバスは令和元年度からは職員が添乗)			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	バス運行回数	回	目標値	58	30	30	30	30
			実績値	-	8	9		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	利用者数	人	目標値	1,000	300	300	300	300
			実績値	-	119	128		
	計算 根拠	ふれあいバス、学びバス (R3、R4は学びバスのみ)	達成率	-	39.7	42.7		
			実数値					
		ランク	-	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	ふれあいバスについては、施設到着後の集合飲食が前提の事業であることから休止した。学びバスについても、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、バスの乗車数を制限しながら行ったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	210	0	224	228	214		事業タイプ	単独事業
	決算額	125	0	25	34			経費区分	人件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	1	5	205	高齢者のいきがいと健康づくり推進事業費	5,345	214	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	214

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.2
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者等に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 感染症対策の徹底、バス定員の制限を行い事業を実施する。すべての老人クラブおよびサロンに対して、利用促進の通知をする。コース内容の見直しを行い、魅力のあるコース設定に努める。なお、入浴施設で飲食を伴うふれあいバスについては休止する。

来年度へ向けて R4年度の実績 ふれあいバスについては、コロナ感染症感染防止のため、施設到着後の集合飲食が前提の事業であることから中止した。学びバスについては、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点からバス定員の制限を行い実施した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行されたもの高齢者を対象とした事業であり、ふれあいバスは、施設到着後の集合飲食が前提の事業であることから今後事業廃止を含め検討する必要がある。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に移行されたもの、ふれあいバスは高齢者を対象とした施設到着後の集合飲食が前提の事業であり、感染防止の観点から廃止する。
学びバスは引き続きできるだけ安全が確保できる運用とし、屋外活動のコースを継続するとともに、新たなコースを設定する。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	老人クラブ連合会活動等補助事業			
R4年度 事業名	老人クラブ連合会活動等補助事業			
総合戦略 体系	331	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市老人クラブ連合会等の活動の促進と育成を図る。				
	概要	市老人クラブ連合会等の各種活動に対して、補助する。 【連合会運営費、連合会事務費、高齢者スポーツ奨励事業・保険料(市単独)】 【事業費、健康づくり事業、高齢者リーダー研修事業、老人クラブ広報活動助成事業】				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	市老連主催事業開催回数	回	目標値	3	8	8	8	8
			実績値	7	8	11		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	市老連が主催する事業に参加した延べ人数	人	目標値	300	600	1,000	1,000	1,000
			実績値	378	1,003	1,621		
	計算 根拠	参加人数合計	達成率	126	167.1	162.1		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,458	3,360	3,025	3,003	2,871		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	3,298	2,568	2,569	2,689			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	1	5	603	老人クラブ活動等助成事業費補助金	5,609	2,871
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,871

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	高齢者地域福祉推進事業補助金(2/3)	727
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	727

事業要員	正規職員	0.4
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 高齢化がますます進む中で、老人クラブの活動は大変重要であるので、広報誌への掲載や財政支援等のサポート等を行いながら、引き続き活動を拡大させる支援を行う。

来年度の実績 R4年度 高齢者の自主的な組織である老人クラブの活動を支援するために、運営や活動に対する財政支援を行った。また、広報誌で老人クラブの魅力ある活動のPRを行うとともに、連合会発行の会員増に向けた独自の広報紙作製等広報活動に対して補助金を交付することで、老人クラブの会員増強、組織強化を支援した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 特になし

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 引き続き、高齢者の自主的な組織である老人クラブの活動を支援するために、運営や活動に対する財政支援を行う。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	要介護高齢者等介護用品(紙おむつ)支給事業
R4年度 事業名	要介護高齢者等介護用品(紙おむつ)支給事業

総合戦略 体系	332	若くて元気なまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	紙おむつを使用している在宅の高齢者に清潔な安らぎを与え、介護者の労苦を軽減する。				
	概要	常時おむつを使用している在宅の高齢者に、紙おむつ助成券を発行し、紙おむつ購入費の一部を助成する。 住民税非課税世帯 要介護4・5 4,800円/月、要介護1・2・3 3,200円/月 住民税課税世帯 要介護4・5 2,400円/月、要介護1・2・3 1,600円/月 (H30.7に助成額の減額変更を行った。) ※ 要介護1～3の者は、利用者本人が住民税非課税者の場合に限り対象とする。(R3より)				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容		
現在	市直営		紙おむつ助成券を3か月ごとに発送し、購入費の一部を助成する。(財源:介護保険地域支援事業等)購入した業者より市に請求があり、支払い事務を行う。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報等による周知回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	事業申請者に対する支給率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	申請者数		達成率	100	100	100		
				実数値	13097/13097	10218/10218	8753/8753		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	27,825	28,130	24,714	23,874	21,992		事業タイ	交付金事業
	決算額	26,062	24,079	20,664	17,062			経費区分	扶助費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	5	3	2	4	要介護高齢者等介護用品支給事業費	20,840	20,840	
2	4	1	1	3	要介護高齢者等介護用品支給事業費	1,152	1,152	
3								
4								
5以降								
							合計	21,992

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(包括的支援事業等)交付金(国)	8,020
2	地域支援事業(包括的支援事業等)交付金(県)	4,009
3	保険者機能強化推進交付金	1,152
4		
5以降		
合計		13,181

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	960

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	第8期介護保険期間中は、要介護度1~3については一部利用制限をかける。要介護度4~5については変更なし。

来年度の実績	H30年度に助成金額を2割減額した。第7期介護保険期間中はH30年度と同様に実施した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	H30年度に助成金額を2割減額した。第7期介護保険期間中はH30年度と同様に実施中。国より第8期期間中の支給要件が示され補助金交付対象者が変更(減少)となったことを受けてR3から対象者の見直しを行った。(要介護1~3の場合、本人課税の場合は対象外とする)今後も要介護者は増加の見込みであり財源の確保が難しい中、助成対象者の見直しを随時検討していく必要がある。また、利用者の適正な把握についてはすでに要介護認定を受けている人への広報も重要であるため、いっそう機会を捉えて広報する必要がある。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	介護予防普及啓発事業
R4年度 事業名	介護予防普及啓発事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	主として活動的な状態にある高齢者を対象に、自らが介護予防に向け主体的に取り組みができるよう支援する。				
	概要	①安心・長寿出前講座②いきいき講座③湯ったりクラブ・湯湯クラブ④老年大学⑤体力測定⑥その他の講座などの介護予防教室等により、高齢者が介護予防に向け主体的な取り組みができるよう普及啓発を行う。				
法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容 ①②③⑥については、提案型市民役事業での委託。			
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	普及・啓発回数	回	目標値	130	41	280	400	400
			実績値	10	222	411		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	延べ参加者数	人	目標値	4,600	700	3,500	5,500	5,500
			実績値	2,590	1,984	5,647		
	計算 根拠	①安心・出前講座 ②いきいき講座③湯ったり講座・湯湯講座④老年大学 ⑤体力測定⑥フレイルチェック⑦プラスいきいきDAY⑧その他の講座の延べ 参加者数	達成率	56.3	283.4	161.3		
			実数値					
			ランク	C	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由							

【単位:千円】

Table with 6 columns: 区分, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023. Rows: 事業費, 予算額, 決算額.

Table with 2 columns: 会計, 介護保険事業特別会計. Rows: 事業タイプ, 経費区分.

DO(実施)

Table with 7 columns: No, 款, 項, 目, 事業, R5年度事業名, 予算書額, うち事業額(千円). Rows: 歳出予算, 1, 2, 3, 4, 5以降, 合計.

Table with 3 columns: No, R5年度補助金等名称, 金額(千円). Rows: 1, 2, 3, 4, 5以降, 合計.

Table with 2 columns: 事業要員, 人数. Rows: 正規職員, 会計年度職員, ※所要時間.

CHECK(評価)

Table with 4 columns: 法令等により実施することが義務付けられているか, 行政が実施すべき事業か, 住民等のニーズは増えているか, 国・県または民間のサービスと競合している事業があるか, 事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか, 合計点数, 点数区分, 次年度方向性の目安, 判定.

Table with 2 columns: 改善を行い、コストの削減を図っているのか, デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか, 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか, 市民団体や事業者による業務委託しているか, 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているのか, 成果は目標を達成できているのか.

ACTION

Table with 2 columns: 今年度, R5方向性⇒ 維持. Content: 取組内容 事業名「介護予防普及啓発事業」には、いきいき講座(ID:2182)も含む事業であるため、ここに統合した。

Table with 2 columns: 来年度へ向けて, R4年度の実績, R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題, R6方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合). Content: 安心長寿出前講座は、老人クラブだけでなく、様々な自主グループにも介護予防の啓発のための講師を派遣し、主体的な介護予防の取組につなげた。

Table with 6 columns: 年度, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024. Rows: 取組選択, 実施状況.

Table with 2 columns: R5年度事業名, R6年度事業名. Content: いきいき講座・安心長寿出前講座事業(5,670)、歌楽人(からっと)体操教室(2,796)、フレイル予防事業(350). 市民主役事業にかかる額(単位千円): 8,816.

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	健康寿命ふれあいサロン事業
R4年度 事業名	健康寿命ふれあいサロン事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	介護予防に資する基本知識の普及・啓発を図る。また、サロン運営に携わる人材の養成や参加者の「いきがいつくり」や地域における介護予防活動を支援する。				
	概要	町内公民館等で自主運営型のサロンを開催し、介護予防(低栄養予防・認知症・転倒予防)に関する普及啓発を実施する。また、ボランティア等を活用した講師の紹介およびサロン運営巡回指導助言者の派遣を行う。				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容 社会福祉協議会にサロン活動、サロン運営指導について委託をしている。		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報等によるサロン設置PR		回	目標値	3	2	1	1	1
				実績値	3	1	1		
	サロン設置数		か所	目標値			111	111	111
				実績値			102		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	サロン設置数 ※2021年度まで		箇所	目標値	116	114			
				実績値	112	109			
計算 根拠	年度末サロン設置数		達成率	96.6	95.6				
			実数値	112/116	109/114				
サロン参加者数(延べ)		人	目標値	4,600	5,000	12,000	12,500	12,500	
			実績値	4,558	4,958	12,425			
計算 根拠	年度末の延べサロン参加者数		達成率	99.1	99.2	103.5			
			実数値						
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	14,505	13,018	11,248	11,088	10,610		事業タイ	交付金事業
	決算額	12,933	8,212	5,752	8,619			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	2	1	3	地域介護予防活動支援事業費	14,236	10,610	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	10,610

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金(国)(20.0%)	2,122
2	調整交付金 総合事業(3.66%)	389
3	支払基金 地域支援事業(27.0%)	2,865
4	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)(県12.5%)	1,327
5以降		
合計		6,703

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒ 維持

取組内容 サロン交流会などを通じて、地区住民に対してフレイル予防(特に社会参加の重要性)について啓発を行い、地区(町内)の中でサロンの価値を高めることで、サロン参加者や運営支援者を増やし、サロンリーダーの負担軽減を図る。専門職による介護予防に関する講座の回数基準を緩和し、住民ボランティアによる講座を拡充することにより、生きがいづくりの場、住民交流の場としてのサロンの役割を強化する。

R4年度の実績 町内公民館にて月1回程度の開催で、体操・栄養・認知症予防・ゲーム等の介護予防に関する実践について講師を迎え、知識を得ながら楽しく学ぶ自主運営型のサロンを102か所実施。登録者数2,285名、延べ参加者数は12,425名であった。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 コロナ禍で活動休止になったサロンがそのまま活動休止や解散に至ったサロンがあった。サロンリーダーの高齢化や1町内に複数のサロンがあった場合の見直しなどを行い支援したためサロン数は、減少した。今後、町内の実情に合わせたサロン設立に対するソフト面での支援を更に検討する必要がある。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 健康寿命ふれあいサロンの開催内容の充実を図り、回数や新たなサロン立ち上げの支援、コロナ禍で減少した参加者数及び新規の会員数を増やすこと等を強化する。1サロンあたりの年間助成額を42,000円/サロンから3,000円の増額をする。共生:コロナ禍で中止としていた加算の一つとして、高齢者と子供と一緒に楽しむ内容を開催し、交流を深める。上限 50,000円/年 10,000円/回/サロン

R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	介護予防把握事業
R4年度 事業名	介護予防把握事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	閉じこもりなど何らかの支援を必要とする高齢者や要介護状態等となるおそれの高い状態の高齢者を把握する。				
	概要	要介護状態等となるおそれの高い状態の高齢者を把握するため、健康チェックリスト表(介護認定者および総合事業対象者を除く)を郵送するとともに介護予防教室等で健康チェックリストを実施します。				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容		
現在	市直営		健康チェックリストを基に生活機能低下がみられる状態かどうかを各地域包括支援センターで判断する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	対象者への通知や広報等での周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	健康チェックリスト実施率	%	目標値	64	64	64	64	64
			実績値	56.0	56.9	61.6		
	計算 根拠	健康チェックリスト実施数/対象者数×100	達成率	87.5	88.9	96.3		
			実数値	2874/5130	3190/5609	3560/5782		
		ランク	B	B	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	4,774	4,913	4,313	2,379	1,980		事業タイ	交付金事業
	決算額	3,340	2,418	1,386	1,432			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	5	2	1	1	介護予防把握事業費	1,980	1,980	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,980

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)(国庫)(20%)	396
2	調整交付金(総合事業)(3.66%)	72
3	支払基金交付金(27.0%)	535
4	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)(県)(12.5%)	248
5以降		
合計		1,251

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒ 維持

取組内容 健康チェックリストの回収率を高め、より多くの虚弱高齢者を把握し支援するため、市広報や定年輪(65、71、74、77、80、83、86、89歳)への啓発、従来どおり健康寿命ふれあいサロン、いきいき講座等の介護予防事業で実施。また、未返信者へのハガキでの再勧奨を実施。健康チェックリストの結果、包括が訪問する。

来年度の実績 R4年度 健康チェックリスト回収数 5,782件、回収率61.6%であり、前年度より増加した。市広報、介護予防教室であるいきいき講座、サロン等で啓発、実施した。健康チェックリスト結果では、「認知症予防・支援」950人、「うつ病予防・支援」747人、「口腔機能」604人、「運動機能向上」581人の順に該当者が多い。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 介護予防の必要な対象者を早期発見するためには、健康チェックリスト回収率の向上を目指す必要がある。健康チェックリストの結果から、「認知症予防・支援」「うつ予防・支援」が必要なリスクのある高齢者が多く、コロナ禍の影響も考えられる。認知症早期把握事業や高齢者訪問事業と合わせて実施する必要がある。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 健康チェックリストの結果返却までの期間を短縮し、結果に応じてその後の介護予防事業やもの忘れ検診等生活機能低下のリスクが高い人への個別支援を地域包括支援センターや在宅保健師が行う。統合 高齢者訪問事業 No2621

R6方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	認知症総合支援事業
R4年度 事業名	認知症総合支援事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	地域における認知症対策についての意識の向上と共通理解を図るとともに、認知症ケア人材の育成を図る。認知症になっても住み慣れた地域での生活を継続できるように、医療・介護の連携強化や認知症の人およびその家族への効果的な支援体制の強化を図る。				
	概要	認知症高齢者の医療・福祉・介護等に携わる地域の専門職に対して研修を行う。また、地域ケアネットワーク研修を開催し認知症高齢者に携わる関係団体等との連携を図り、認知症の人と家族の支援の為に認知症カフェや本人と家族のつどいの開催と認知症専門医による相談会等を行っていく。また、徘徊高齢者の早期保護のため、SOSネットワークを充実させる。				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容 認知症サポーター養成講座や認知症キャラバンメイトへの支援、チームオレンジの立ち上げを提案型市民主役事業で委託する。		
現在	民間等委託（一部）					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	研修会、認知症カフェの開催数	回	目標値	90	90	85	100	100	
			実績値	25	39	82			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	延べ参加者数	人	目標値	600	600	200	600	600	
			実績値	127	93	617			
	計算 根拠	延参加者数	達成率	21.2	15.5	308.5			
			実数値						
		ランク	C	C	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

Table with columns: 区分, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, タイプ, 会計, 介護保険事業特別会計, 事業タイ, 交付金事業, 経費区分, 物件費

DO(実施)

Table with columns: No, 款, 項, 目, 事業, R5年度事業名, 予算書額, うち事業額(千円)

Table with columns: No, R5年度補助金等名称, 金額(千円)

Table with columns: 事業要員, 正規職員, 0.5, 会計年度職員, 1, ※所要時間, 200

CHECK(評価)

Checklist for implementation status with questions like '法令等により実施することが義務付けられているか' and a summary table with columns: 合計点数, 点数区分, 次年度方向性の目安, 判定

Checklist for effectiveness with questions like '改善を行い、コストの削減を図っているのか' and '効果は目標を達成できているか'

ACTION

Action plan section with 'R5方向性' (事務改善), 'R4年度の実績' (コロナ禍で開催が困難であったが...), 'R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題', and 'R6方向性' (維持)

【提案型市民主役事業実施】

Table with columns: 年度 (2020-2024), 取組選択 (可能/不可能), 実施状況 (実施/未実施)

Table for R5年度事業名: 「チームオレンジ鯖江」事業, 市民主役事業にかかる額(単位千円): 275

Table for R6年度事業名: 「チームオレンジ鯖江」事業, 市民主役事業にかかる額(単位千円): 275

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	高齢者訪問事業			
R4年度 事業名	高齢者訪問事業			
総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	昨年度と比べて一般介護予防事業への未参加となった高齢者や生活機能の低下リスクの高い高齢者宅に訪問し、心身の状況や生活の実態等を把握し、課題の解決を図るとともに、要支援、要介護状態にならないよう予防する。				
	概要	高齢者の居宅に保健師等が訪問し、生活機能や生活状態などに関する問題を総合的に把握し、介護予防への取り組みに関する助言や相談への対応や地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関または制度の利用につなげる支援を行う。				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		各地域包括支援センター職員や在宅保健師等が実施。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	訪問者数	人	目標値	400	400	150	150	150
			実績値	1,065	72	159		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	訪問のうち実態把握や解決の手段・方法を示すことができた割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	計算 根拠	実態把握者および解決の手段・方法を示した人数／訪問者数×100	達成率	100	100	100		
			実数値	1065/1065	72/72	159/159		
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	1,625	1,625	1,240	50	500		事業タイ	交付金事業
	決算額	668	1,625	133	50			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	2	1	2	介護予防普及啓発事業費	12,033	500	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	500

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)(国)(20%)	100
2	調整交付金 総合事業(3.66%)	183
3	支払基金 地域支援事業(27.0%)	135
4	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)(県)(12.5%)	62
5以降		
合計		480

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	300

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1ははい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1ははい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	健康チェックリストや健康診査の結果から、フレイル(虚弱)状態となる可能性の高い対象者を抽出し、在宅保健師等が自宅に訪問することで、生活機能や生活状態などに関する問題を総合的に把握する。把握した情報や高齢者からの相談に応じて地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関または制度の利用につなげ重症化を防ぐ。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	地域包括支援センターによる訪問件数 延べ 2,498件 訪問内訳としては、介護保険(予防)サービス、認知症ケア、高齢者の生活実態の状況把握による訪問であった。一般介護予防事業への不参加となった高齢者への実態把握と相談及び介護予防への助言等を行った。訪問件数 29件
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルス感染症により外出の機会が低下したことによる生活機能低下から介護保険や認知症に関する相談も多かった。健康チェックリストの結果による生活機能低下のリスクの高い人への実態把握、自立支援に向けた適切なサービス提供や助言・指導ができる体制が必要である。介護予防把握事業の手段として高齢者訪問事業を行う。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	健康チェックリストの回収率の向上や健康チェックリストからの生活機能低下のリスクの高い人に対し、高齢者等高齢者訪問対象者の優先順位をつけて、訪問を実施する。 介護予防把握事業(No2542)に統合 予算も健康チェックリスト結果を踏まえた生活機能低下者の把握として地域包括支援センター職員だけでは支援できない在宅保健師の訪問を実施する。
	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	介護支援サポーターポイント事業			
R4年度 事業名	介護支援サポーターポイント事業			
総合戦略 体系	331	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生きがいつくりと社会参加活動への支援

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	介護保険法に規定する介護予防事業として、高齢者が、社会参加、地域貢献を行いながら、自らの健康増進、介護予防に積極的に取り組む事ができるようにするとともに、市民の参加と協働による地域支えあい活動を育成、支援することを目的とする。				
	概要	高齢者が行った介護支援サポーター活動の実績を評価したうえで評価ポイントを付与し、当該高齢者の申出により、当該評価ポイントを換金した介護支援サポーター評価ポイント転換交付金を交付する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(一部)		介護支援サポーターの登録、ポイント管理および付与、受入機関との調整等事務を社会福祉協議会へ委託			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報等による事業PR		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	介護支援サポーターの登録者数		人	目標値	340	340	230	230	230
				実績値	357	223	246		
	計算 根拠			達成率	105	65.6	107.0		
				実数値					
			ランク	A	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

(単位:千円)

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	2,398	2,591	2,591	2,587	2,588		事業タイ	交付金事業
	決算額	2,134	1,399	1,493	1,636			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	2	1	3	地域介護予防活動支援事業費	14,236	2,588
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,588

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	調整交付金(総合事業)(国)	95
	2	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金	517
	3	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)支援交付金	699
	4	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金	324
5以降			
		合計	1,635

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 介護予防人材養成事業と合せて、住民主体の集いの場の支援や介護予防事業協力等活動の場を拡大していく。

来年度へ向けて R4年度の実績 コロナの影響により、介護支援サポーター受入機関の入場規制やふれあいサロンの一部中止により、サポーター活動が制限された。活動の場の拡大や運用改善を目的に、受入機関やサポーターに対しアンケートを実施した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 コロナの影響により、介護支援サポーター受入機関の入場規制やふれあいサロンの中止により、サポーター活動が制限される可能性がある。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 介護予防人材育成事業、認知症サポーター養成講座とあわせて介護予防事業等活動の場を拡大していく。さらに、1年間当該事業に参加することで介護予防に効果があったかを測るため、事業参加前後に基本チェックリストを実施する。また、データベース化を行い、事業参加者に結果を通知することで、自身の生活や健康状態を振り返ってもらう。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	認知症早期把握事業
R4年度 事業名	認知症早期把握事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	認知症は早期発見、早期治療により、症状の重症化を抑制することが可能である。しかし、認知症に対する偏見や誤解はまだ根深く、早期受診につながっていない。そこで、認知症に関する早期の診断を行う機会を設け、診療につなげることで重症化を抑制し、住み慣れた地域で生活する期間をできる限り延長することを目的とする。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業の対象者を把握するための「健康チェックリスト」に認知症を早期発見するための項目を追加した「健康チェックリスト」および「認知症疑いの判定基準」を用いて実施する。 ・65歳以上の高齢者（介護認定者および総合事業対象者を除く）に、「健康チェックリスト」を送付し、回収後に認知症の疑いを判定する基準に該当した者に、かかりつけ医受診を勧奨し検査を実施。検査の結果、必要に応じかかりつけ医または専門医療機関で経過観察、精密検査、治療等を行う。 ・脳の健康度テストや認知症の相談会を開催し、気軽に相談できる場をつくる。 				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容		
現在	民間等委託（一部）		簡易検査（MMSE検査）の実施・報告については、市医師会に委託している。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	対象者のうち、健康チェックリストを実施した者の割合	%	目標値	62	62	63	63	63
			実績値	56.0	56.9	61.6		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	認知症の疑いを判定する基準該当者のうち、受診した人の割合	%	目標値	7	8	8	8	8
			実績値	8.9	5.4	6.9		
	計算 根拠	受診者/認知症の疑いを判定する基準該当者×100	達成率	127.1	67.5	86.3		
			実数値	90/1007	51/938	77/1,124		
		ランク	A	C	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	認知症の疑いのあるリスクの高い高齢者に対しての受診勧奨訪問等を行ったのが、冬期間であったため外出しにくい要因も高まり、受診につながらなかった。また、受診再勧奨通知を発送できなかった。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	1,007	1,587	891	680	488		事業タイ	交付金事業
	決算額	111	380	326	216			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	5	3	5	1	認知症初期集中支援推進事業費	991	488	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	488

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(包括的支援事業)(国:38.5%)	192
2	地域支援事業(包括的支援事業)(県:19.25%)	94
3		
4		
5以降		
合計		286

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	もの忘れ検診をする継続して実施し、認知症の早期発見や早期対応、重症化予防に取り組む。また、早期の認知症対象者への一般介護予防事業や認知症初期集中支援チーム等必要な支援に繋げる。もの忘れ検診未受診者に対して、包括職員が受診勧奨を行う。早期から認知症予防に取り組めるよう、自身の認知機能を知る機会として、「ファイブ・コグ」を用いた脳の健康度テストや専門医による相談会を開催する。
来年度へ向けて	R4年度実績 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 健康チェックリストの回収率の向上を図り、認知症の早期発見や適切なサービスや事業への支援を行う必要がある。認知症の前段階を早期発見し、一般介護予防事業、他の事業との連携を強化し、予防の取り組みを進めていく必要がある。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	もの忘れ検診の未受診者には、結果通知後、4か月以降には、再受診勧奨通知を行ったり、ハイリスク高齢者には、各地域包括支援センターが積極的受診勧奨や一般介護予防教室への参加、脳の健康度テストへの参加勧奨を行う。
R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	在宅医療・介護連携推進事業
R4年度 事業名	在宅医療・介護連携推進事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	地域包括ケアの推進に向けて、在宅医療関係機関、介護関係機関等と連携し、地域の実情に応じた在宅ケア体制整備の推進を図る。				
	概要	在宅医療・介護の連携強化を図るコーディネーターを配置し、地域の在宅医療・介護関係者の顔の見える関係づくりや、医療・介護関係機関の連携によるサービス提供体制の充実、地域住民への在宅ケアの普及啓発等を実施する。				
法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容	地域包括支援センターにコーディネーターを配置して実施することを条件としており、市直接実施が妥当。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	在宅医療・介護連携推進のための普及啓発活動	回	目標値	1	1	40	50	50
			実績値	12	15	68		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	在宅医療・介護連携に関する協議会の開催	回	目標値	3	3	2	2	2
			実績値	2	1	2		
	計算 根拠	在宅ケアに関する協議会の開催回数	達成率	66.7	33.3	100.0		
			実数値					
		ランク	C	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

Table with 6 columns: 区分, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023. Rows: 事業費, 予算額, 決算額. Includes sub-tables for 会計 and 介護保険事業特別会計.

DO(実施)

Table with 7 columns: No, 款, 項, 目, 事業, R5年度事業名, 予算書額, うち事業額(千円). Includes a summary row for 合計.

Table with 3 columns: No, R5年度補助金等名称, 金額(千円). Includes a summary row for 合計.

Table with 2 columns: 事業要員, 人数. Rows: 正規職員, 会計年度職員, ※所要時間.

CHECK(評価)

Checklist table with 4 columns: 合計点数, 点数区分, 次年度方向性の目安, 判定. Includes questions about implementation and future goals.

Checklist table with 2 columns: 効率性, 有効性. Includes questions about cost reduction, digital technology, and goal achievement.

ACTION

Action plan table with 2 columns: 今年度, 来年度へ向けて. Includes details on R5 direction (維持) and R6 direction (維持).

【提案型市民役事業実施】

Table with 6 columns: 年度, 取組選択, 実施状況. Rows: 2020, 2021, 2022, 2023, 2024.

Table with 2 columns: R5年度事業名, R6年度事業名. Includes amounts for 市民役事業.

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	フレイル予防事業
R4年度 事業名	フレイル予防事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	高齢化が進む中、高齢者の心身機能が低下する「フレイル」の兆候を見逃さず、介護が必要となる前段階で気づき、予防の取り組みを行うことで、元気な高齢者が増えることを目的に実施する。				
	概要	高齢者が自身の健康状態を把握し自発的な健康づくりを行うよう促すため、フレイル予防サポーター養成、フレイルチェックを実施するとともに、フレイル予防という考え方を普及啓発する。				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		提案型市民主役事業としてフレイル予防サポーターによる市民団体(さばえフレイル予防「指輪っかの会」)にフレイル予防サポーター養成、フレイルチェック、フレイル予防に関する啓発の業務を委託			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	フレイルチェック実施回数	回	目標値	8	8	-	-	-
			実績値	2	23	-	-	-
	フレイル予防に関する啓発活動	回	目標値		20	25	25	-
			実績値		22	25		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	フレイルチェック延べ参加者数	人	目標値	150	300	-	-	-
			実績値	27	160	-	-	-
計算 根拠	延べ参加者数	達成率	18.0	53.3	-	-	-	
		実数値						
フレイルにならないように気をつけるようになった者の割合	%	目標値		90	90	90	-	
		実績値		92.3	73.4			
計算 根拠	2回目のフレイルチェック時のアンケートで「フレイルにならないように気をつけるようになった」と回答した者の割合	達成率		102.6	81.6			
		実数値		24/26	69/94			
		ランク	C	C	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	新規参加者が多かったため、継続的なフレイル予防に取り組むことの習慣化がまだ不十分であった。リピーターは継続性が高いと思われる。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	521	685	481	538	539		事業タイ	交付金事業
	決算額	309	94	210	464			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	2	1	2	介護予防普及啓発事業費	12,033	539	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	539

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金(国)	108
2	調整交付金 総合事業(3.66%)	19
3	支払基金 地域支援事業(27.0%)	145
4	(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金(県)(12.5%)	68
5以降		
合計		340

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	88

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	フレイル予防サポーター養成講座およびフレイルチェック、フレイル予防啓発講座等はフレイル予防サポーターによる市民団体(さばえフレイル予防「指輪っかの会」)に委託し、実施する。広報やホームページ等でフレイル予防の普及啓発を実施する。
来年度へ向けて	R4年度の実績 フレイル予防サポーター養成講座を2回実施し、7人のサポーター養成。フレイルチェックは、いきいき講座や地区公民館等で実施し、17回225名に実施した。令和4年度は、提案型市民主役事業としてさばえフレイル予防「指輪っかの会」に委託により実施した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 フレイル予防事業は、介護予防普及啓発事業の一つであるため介護予防普及啓発事業に統合する。提案型市民主役事業として業務委託をしているが、フレイル予防が必要な人を他の事業へ紹介したり、個々の評価を活かした事業展開が難しいため、介護予防普及啓発事業として取り組む。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 フレイル予防サポーターによる市民団体(さばえフレイル予防「指輪っかの会」)に委託したことにより、フレイル予防に関する啓発の機会が増加しており、継続した提案型市民主役事業とする。事業名No2105「介護予防普及啓発事業」に統合。
	R6方向性⇒ <input type="text" value="事務改善(他事業との連携・統合)"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	可能	可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度事業名	フレイル予防事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="400"/>
R6年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

R5年度 事業名	認知症初期集中支援推進事業費
R4年度 事業名	認知症初期集中支援推進事業費

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	認知症高齢者が増加する中、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症初期集中支援チームを設置し、地域包括支援センターと連携しながら、認知症が疑われる人や認知症の人およびその家族を訪問、観察・評価、家族支援等の初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行う。				
	概要	相談窓口である地域包括支援センターに相談があったケースに対し、認知症サポート医1名、専門職2名(看護師、精神保健福祉士等)で構成されたチーム員と各地域包括支援センター、認知症地域支援推進員が、定期的に初期集中支援チーム員会議を開催し、連携を図りながら協働して支援する。				
	法令等 根拠 現在	介護保険法 民間等委託(一部)	実施 形態	内容 直営でチームを設置し、各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員と共に活動を行う。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	認知症初期集中チーム員会議開催数		回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	11	12	12		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	初期集中支援チーム相談者数(延べ)		人	目標値	12	30	50	80	80
				実績値	39	51	86		
	計算 根拠			達成率	325	170	172		
				実数値					
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額	2,158	2,954	2,652	2,599	991		事業タイ	交付金事業
	決算額	1,224	1,148	1,294	276			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	3	5	1	認知症初期集中支援推進事業費	991	991	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	991

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(国)(38.5%)	382
2	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(県)(19.25%)	191
3		
4		
5以降		
合計		573

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1ははい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1ははい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	15	有効性	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない
点数区分	0点~8点		
	9点~16点		
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止		
判定	維持または事務改善		

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	圏域の地域包括支援センターの認知症地域推進員と連携相談窓口の強化を図り、認知症の相談内容に対し、毎月1回の認知症初期集中チーム員会議を開催し、チーム員での初期対応対象者かどうか、対応の方向性等の検討後、対象者には支援チームが訪問等を実施し、他機関と連携、観察・評価の家族支援等の初期の支援を包括的、集中的に行う。支援チームの対応力の向上を目指す。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	認知症初期集中支援チームを、市直営で実施(月1回)。認知症サポート医、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員が参加。このチーム員は、訪問や認知症初期集中支援チーム員会議を運営し、認知症専門医療機関への受診に至る事例や介護保険サービス利用に至る事例、チーム員への相談事例等56件について検討、支援した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	継続して認知症初期集中支援チームでの活動について、地域の課題や事業評価を実施する必要がある。困難ケースとなつてからの相談が多いため、住民や介護支援専門員等に認知症相談窓口や事業内容の理解を得るための啓発を行う必要がある。チームの活動を通して、チーム員や地域包括支援センター職員の認知症の初期支援や各関係機関との連携について学び、対応力の向上を図る必要がある。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	地域住民や介護支援専門員等に事業の相談窓口や役割に関する周知啓発を行い、関係機関との連携を強化し適切な時期に支援ができるよう継続して取り組む。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	訪問アセスメント支援事業
R4年度 事業名	訪問アセスメント支援事業

総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進
------------	-----	-------------	--------------	-------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	高齢者が在宅において可能な限り自立した生活が送れるよう、適切な介護サービスの利用やケアマネジャーによる自立支援に資する介護予防ケアマネジメントにつなげることを目的とする。				
	概要	リハビリテーションの専門職が自宅を訪問し、住環境や生活動作のアセスメントを実施し、住環境整備、福祉用具の選定、生活動作における助言等を実施する。担当ケアマネジャーまたは地域包括支援センター職員が必要と思われる対象者を選定したり、自宅での生活動作での困り事がある対象者がいる場合、福井県地域包括リハケアシステム推進事業にて協力可能な理学療法士、作業療法士のリハビリ職が属する医療機関や介護事業所(3か所)に派遣要請を実施し、担当ケアマネジャーや地域包括支援センター職員とともに訪問する。				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		リハビリ専門職の地域への訪問派遣事業が可能な法人や事業者が、高齢者の自宅を訪問し住環境整備や福祉用具選定、生活動作における助言等を実施する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	専門職派遣協力機関数	件数	目標値	3	3	3	5	5
			実績値	3	3	4		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	訪問アセスメント実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	計算 根拠	対象者に対する派遣実施回数の割合	達成率	100	100	100		
			実数値	1/1	2/2	9/9		
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額		300	356	352	347		事業タイ	交付金事業
	決算額		6	30	75			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	2	1	5	地域リハビリテーション活動支援事業	395	347	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	347

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金(国)	70
2	総合事業 調整交付金(3.66%)	12
3	支払基金交付(27.0%)	95
4	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)交付金(県)	44
5以降		
合計		221

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	40

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	14
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	令和2年度より開始した事業であり、事業の周知等も十分ではないため、広報やHPなどを利用し全体的な周知を図る。またケアマネや地域包括支援センター等に必要の人に利用してもらえるように、再度事業の周知を行う。
来年度の実績	R4年度 リハビリ職の派遣協力機関数が1事業所増加し、前年度より事業利用者数の増加につながった。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルス感染症の影響により派遣先の事業所によっては、リハビリ職の派遣ができなかった。一部の事業所の負担が大きにならないように、専門職派遣先の新規の受入先の事業所や人材を今後、開拓していく。今後も広く事業周知されるように、各地域包括支援センターからも各圏域のケアマネ研修会を通して、事業を有効活用してもらえるように依頼していく。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	住宅改修や福祉用具貸与のため介護保険申請前に適切な利用となるように、派遣事業を利用する方法や流れについてケアマネジャーや地域包括支援センター職員に周知啓発する。今後も継続して、事業の利用者数の増加することを予測されるため、リハビリ職派遣事業者の拡大を協議し、高齢者が安心して在宅生活が送れることを目指す。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	生活支援体制整備事業
R4年度 事業名	生活支援体制整備事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	高齢者の生活支援・介護予防サービスの充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に実施する。				
	概要	第1層生活支援コーディネーター(市全体担当)2名、地域支え合い推進員(各地区担当)10名を配置し、生活支援等のサービス提供体制の構築(資源開発、ネットワークづくり)、ニーズと取り組みのマッチングを図る。				
	法令等 根拠	介護保険法	実施 形態	内容 生活支援を担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実、強化および高齢者の社会参加の推進を一体的に図る事業		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	協議体設置数(第1層・第2層)	数	目標値	7	8	9	9	10
			実績値	7	7	8		
	協議体開催数(第1層、第2層)	回	目標値	10	11	12	14	16
			実績値	6	4	14		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	協議体延参加者数	人	目標値	60	60	90	100	100
			実績値	123	89	232		
	計算 根拠	第1層協議体および第2層協議体の延べ参加者数	達成率	205.0	148.3	257.8		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由							

[単位:千円]

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	後期高齢者医療特別会
	予算額		17,586	17,740	16,506	15,455		事業タイ	交付金事業
	決算額		6,510	14,497	12,820			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	5	3	4	1	生活支援体制整備事業費	15,455	15,455	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	15,455

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(国)(38.5%)	5,950
2	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(県)(19.25%)	2,975
3	市一般財源	2,975
4	第1号被保険者保険料(23%)	3,555
5以降		
合計		15,455

事業要員	正規職員	5.2
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	地域支え合いの意識醸成するためには、住民、関係団体等への啓発がコロナ禍において話し合いが必要であり、人数の制限や時間短縮を行い感染対策を行い開催する。また、地域の高齢者の困りごとやできることを協議体で共有し、住民主体の生活支援サービス等社会資源の創出に向けた活動を推進する。地域の担い手となるボランティア創出に向け助け合い応援講座を開催する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	地域支え合いの啓発活動として区長会や民生委員会、福祉委員会等において地区の実態や地域支え合いの重要性に関する啓発を行った。また、地域の助け合い応援講座(2回シリーズ)を3会場で開催し、42名が参加した。高齢者の「困りごと」の課題である移動支援について運転ボランティア研修を1回実施し12名が参加した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	生活支援サービス提供体制の構築について、協議体での話し合いを継続して開催することが必要である。また、地域の高齢者の「困りごと」と「できること」を協議体で共有し、生活支援サービス等の社会資源の創出が必要である。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	町内や関係団体などの小規模での学習会や勉強会を行い、意欲のある人等のつながりを強化し、協議体での継続した話し合いを開催する。また、高齢者の「困りごと」の課題である移動支援について互助活動を中心とした生活支援サービスを創設するための研修会・協議を継続して行う。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	アルツハイマー月間普及啓発事業
R4年度 事業名	アルツハイマー月間普及啓発事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含め、多くの人にとって身近なものである。認知症の発生を遅らせ認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「認知症とともに生きる社会」を推進する。				
	概要	世界アルツハイマーデー(9月21日)および月間である9月頃を中心に集中的に普及・啓発イベント等を開催する。				
	法令等 根拠 現在	介護保険法 市直営	実施 形態	内容 地域包括支援センター、医療機関、介護サービス事業者、認知症サポーターその他認知症地域支援推進員を配置し、推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築および認知症ケアの向上を図る。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	認知症普及啓発事業数		回数	目標値	16	16	16	30	30
				実績値	12	21	29		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	認知症当事者による事業への参加者実人数(市が行う事業に当事者として参加する人数)		人	目標値	5	10	13	30	32
				実績値	5	13	28		
	計算 根拠	市が行う事業(フォーラム・研修会、認知症の人と家族のつどい(県事業も含む)、認知症カフェ、ピア相談、認知症サポーター養成講座等)への当事者の参加者数		達成率	100	130	215.4		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額		210	480	460	189		事業タイ	交付金事業
	決算額		5	215	116			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	3	5	2	認知症地域支援・ケア向上事業費	1,140	189
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	189

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(国)(38.5%)	73
	2	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(県)(19.25%)	36
	3		
	4		
	5以降		
		合計	109

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	世界アルツハイマー月間にあわせて、9月には、広報での特集やチラシ等での認知症の普及啓発を強化する。市の建造物を認知症カラーであるオレンジ色にライトアップしたり、市役所では、横断幕による啓発を地域包括支援センターに配置する認知症地域支援推進員と協働し、認知症サポーターや当事者の参加を呼び掛け実施する。認知症当事者の声を反映した認知症講演会やワークショップ研修会を開催する。	
来年度へ向けて	R4年度実績	認知症カフェ、認知症の人と家族の集い、認知症サポーター養成講座、一般介護予防講座等の事業実施において、チラシや講座内容で普及啓発を実施した。月間期間中、文化の館において認知症に関する図書の紹介やポスター等で認知症の予防等についての啓発を行った。また、9月中は、横断幕の掲示と西山橋をシンボルカラーのオレンジ色にライトアップした。さらに、9月21日には西山公園の噴水と広場をオレンジキャンドルで点灯し、世界アルツハイマーデーを啓発した。新型コロナウイルスの拡大防止のため、講演会や研修会等は実施できなかった。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	市全体で「認知症予防と認知症にやさしい地域づくり」を目指すために、住民への理解向上を図るための認知症サポーター養成講座の普及啓発や認知症にやさしいお店・事業所の登録の推進およびアルツハイマー月間普及啓発事業を実施する必要がある。令和4年度は、コロナ感染対策防止により、当事者や関係機関との連携強化ができなかったが、令和5年度は、圏域毎の地域包括支援センターの認知症地域支援推進員や認知症サポーターと連携し、アルツハイマー月間普及啓発を強化する。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	高齢者憩の場活動支援事業
R4年度 事業名	高齢者憩の場活動支援事業

総合戦略 体系	331	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援
------------	-----	-------------	--------------	--------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2022	終了年度	2023
	目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者の外出自粛が長く続く中で、老人クラブやサロンの活動制限や参加意欲の低下などにより、人と集う機会が少なくなっている。 気軽にいつも集まっている場所(町内公民館)でゲームや体操などを行いながら、外出を自粛し閉じこもりがちであった高齢者に外出や集いの楽しみの気持ちを取り戻していただくための、きっかけ(動機)づくりとして気軽に楽しく健康づくり活動を行えるよう支援する。				
	概要	老人クラブといきいきサロンを対象に、各町内公民館等を会場に移動店舗が活動を行う指定日時に向いていき、まずは脳トレを兼ねて自ら金額を計算して楽しく買い物(駄菓子屋風に店を仕立てることを予定)を行う。その後、会場内で介護予防講座等を行っていただく。いつもの出前講座や介護予防事業への参加だけでなく、移動スーパーでの買い物体験というお楽しみ企画を組み合わせることで、活動参加にわくわくした気持ちをプラスし外出や集いへの参加の意識向上を図る。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	その他		令和4年度に引き続き、提案型市民主役事業として実施予定			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	移動店舗運行回数		回	目標値			25	25	-
				実績値			14		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	利用者数		人	目標値			250	280	-
				実績値			278		
	計算 根拠			達成率			111.2		
				実数値					
		ランク			A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				500	425		事業タイプ	単独事業
	決算額				211			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名		予算書額	うち事業額(千円)
1	3	1	5	205	高齢者のいきがいと健康づくり推進事業費		5,345	425
2								
3								
4								
5以降								
							合計	425

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	60

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
12	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 老人クラブとサロンへの事業案内を行い、参加の呼びかけを行う。参加希望団体と日程調整を行い、移動店舗運用事業所と連携しながら、外出や集うことへのきっかけとなるように事業を実施する。市民提案の形態で楽しい企画となるようにする。

来年度へ向けて R4年度実績 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 特になし

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点
コロナ禍において外出を自粛し閉じこもりがちであった高齢者に外出や集いの楽しみの気持ちを取り戻していただくための、きっかけ(動機)づくりとしての事業であったことから、目的達成として事業を終了する。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由
コロナ禍において外出を自粛し閉じこもりがちであった高齢者に外出や集いの楽しみの気持ちを取り戻していただくための、きっかけ(動機)づくりとしての事業であり、感染症法上の位置づけが「5類」に移行され、自由に行動できていることから目的達成として事業を終了する。

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			可能	可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	高齢者憩の場活動支援事業
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 380
R6年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	在宅理容・美容出張サービス利用助成事業
R4年度 事業名	在宅理容・美容出張サービス利用助成事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	在宅で生活している要介護高齢者等の自宅を理容師・美容師が訪問して理美容サービスを手軽に利用する機会(きっかけ)を提供することにより、心身をリフレッシュさせ清潔で快適な在宅生活を送れるよう支援し、福祉の向上を図る。				
	概要	在宅の要介護者(要介護3～5)で店舗などに向いて理髪・整髪を行うことが困難な者が、市に事業登録している理美容業者に居宅での整髪等を依頼したときの費用の一部を助成する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	市直営		年齢要件(65歳以上で要介護3～5に認定された在宅高齢者)を確認して年1回1枚の利用助成券(上限5,000円)を交付している。			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報等による周知回数			目標値			3	3	3
				実績値			3		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	申請者に対する支給率			目標値			100	100	100
				実績値			100		
	計算 根拠	交付者数/申請者数×100		達成率			100		
				実数値			17/17		
				ランク			A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				511	204		事業タイ	単独事業
	決算額				44			経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	1	5	314	在宅理容・美容出張サービス利用助成事業費	204	204
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	204

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	100

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	広報さばえ等による積極的な事業PRを行う。 事業参加可能な理美容店舗の登録を促進する。 適正な申請・助成券の交付を行い、対象となる高齢者の福祉の向上を図る。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	17人ではあったが、要介護3以上の在宅の高齢者で店舗に出向いて理髪・整髪を行う事が困難な人に対して、心身をリフレッシュさせ清潔で快適な在宅生活を送れるよう支援することができた。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	登録理容美容業者を増やす必要があるとともに、更なる事業周知の必要がある。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	理美容業界に対し事業所の参加を促してもらうとともに、居宅介護支援事業所等に高齢者福祉・介護保険ガイドブックを配布し、更なる事業周知を行う。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	地域包括支援センター体制整備事業
R4年度 事業名	地域包括支援センター体制整備事業

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう各日常生活圏域に地域包括支援センターを設置し、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務により包括的な支援を行う。				
	概要	①総合相談支援事業②権利擁護事業③包括的・継続的ケアマネジメント④第1号介護予防支援事業を実施するために、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種を配置し、チームアプローチを実行し業務を実施する。令和4年度および5年度は、継続して運営業務を4法人に委託する。				
	法令等 根拠 現在	介護保険法 民間等委託(全部)	実施 形態	内容 市内4圏域に各地域包括支援センターを1か所設置するため、民間等に委託する。総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、第1号介護予防支援事業を行う。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	地域包括支援センター設置数			目標値			4	4	4
				実績値			4		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	各地域包括支援センター総合相談件数			目標値			1,000	1,200	1,200
				実績値			1,274		
	計算 根拠	地域包括支援センター相談件数(4か所)		達成率			127.4		
				実数値					
			ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額				88,000	84,000		事業タイ	交付金事業
	決算額				87,572			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	3	1	5	地域包括支援センター体制整備事業費	84,000	84,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	84,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(国38.5%)	32,337
2	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(県19.25%)	1,417
3		
4		
5以降		
合計		33,754

事業要員	正規職員	1
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	14
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ 維持
取組内容	<p>継続して総合相談窓口の普及啓発や個別ケースの相談支援を行う。権利擁護事業の虐待案件が多くなり、基幹型地域包括支援センターと連携して実施することが多くなったため地域型と行政(基幹型)の役割分担や外部の虐待研修を受講することで虐待対応の流れが出来てきた。包括的・継続的ケアマネジメント業務は、決め細かく各圏域でケアマネ支援を行う事ができ、ケアマネの困りごとに対して対応する仕組みができた。今後も継続的支援を行い、市全体で検討すべきことの意見集約を行う必要がある。</p>
来年度へ向けて	<p>R4年度の実績 各4圏域に地域包括支援センターを設置し、法人等に委託した。今年度は、地域包括支援センターに関する周知を関係機関や地域の団体等に普及啓発を行った。(包括合計 128回) 総合相談窓口業務としては、包括合計 実人数 1,274人 延人数6,512人であった。権利擁護業務も虐待ケースに関する会議 包括合計24回、成年後見制度の周知啓発や困難ケースのケース会議なども行った。包括的・継続的ケアマネジメント業務としてはケアマネ支援として同行訪問や圏域ごとのケアマネ研修会の開催、地域の関係機関や団体との連携を支援</p> <p>R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 地域包括支援センターの周知啓発を地域支援事業を通して啓発したり、民生委員や地域の関係機関や公共機関において周知した。今度、高齢者の集まりや高齢者が利用する地域の事業所や高齢者を介護する世代なども含め地域包括支援センターの周知啓発を継続して行う必要がある。権利擁護に関する虐待事例のケースの流れや各地域支援事業と地域包括支援センターとの連携について不十分な面もあり、各地域包括支援センターと協議しながらマニュアル等の整備が必要である。</p> <p>実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 現在の地域包括支援センター運営業務委託事業者は、令和4年度、5年度の2年間であったが、介護保険計画2期分(6年間)および専門職の持続可能な人材配置の確保を目指すため、6年間の運営業務委託事業者の選定が必要である。</p> <p>R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)</p> <p>CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由</p>

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	成年後見制度利用促進体制整備事業
R4年度 事業名	

総合戦略 体系	333	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	-------------	--------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	長寿福祉課		開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	成年後見制度に関する地域ネットワークづくりや中核機関の整備、一般市民への啓発・普及を行い、地域社会で認知症高齢者等が安心して生活を送ることができる。					
	概要	圏域内の高齢者等がより安心して生活することができる社会を実現するため、「ふくい嶺北成年後見センター」と連携市町が共同して、成年後見制度の利用促進を図るとともに、地域連携のネットワークづくりや中核機関の機能強化、市民後見人の養成・育成に取り組む。					
	法令等 根拠	成年後見制度の利用の促進に関する法律	実施 形態	内容 ふく嶺北連携中枢都市圏域連携協約書に基づき7市町で協働で実施する。「ふくい嶺北成年後見センター」の運営事業に関する協定を令和4年度に締結した。			
現在	民間等委託(一部)						

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	相談延べ件数		件	目標値			30	40	40
				実績値			30		
	市民後見人養成講座終了者数(累計)		人	目標値			0	7	7
				実績値			0		
	適正運営委員会への提出件数		人	目標値			2	3	3
				実績値			2		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	市民後見人登録者数(累計)		人	目標値			0	3	3
				実績値			0		
	計算 根拠	市民後見人養成講座終了後の登録者数(2年ごとの養成)		達成率			0		
				実数値			0		
				ランク			-		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	介護保険事業特別会計
	予算額				3,377	3,133		事業タイ	交付金事業
	決算額				3,337			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	5	3	2	5	成年後見制度利用支援事業費	4,861	3,133	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,133

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(国)38.5%	1,206
2	地域支援事業(包括的支援事業)交付金(県)19.25%	603
3		
4		
5以降		
合計		1,809

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	14
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	成年後見制度あんしんガイドブック作成、市民向け普及啓発イベント、市民後見人養成講座説明会と養成講座を圏域内の市町、ふくい嶺北成年後見センターとともにを行った。また、市長申立て等による成年後見人の受任者調整会議についても随時行った。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	令和4年6月1日ふくい嶺北後見センター、市長申立て等による成年後見人候補者を選定する受任者調整会議、市民向け普及啓発イベントの講演会の実施、ふくい嶺北後見センターによる法的な対応が必要な事例相談などの2次窓口相談を設置した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	市民後見人の研修及び育成、市民後見人バンクへの登録など市民後見人が今後、裁判所から選任される体制づくりを構築していく。後見制度の普及啓発は、継続して医療・福祉の専門職や住民対象とする講演会や広報等での周知啓発を行う必要がある。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒